

# 南山大学・豊田工業大学 連携講演会

第6回

参加費無料

テーマ

## 震災に負けないエネルギー活用とまちづくり

日時

12月11日(日) 13:30~16:00

会場

南山大学名古屋キャンパス  
R棟1階 フラッテンホール  
名古屋市昭和区山里町18

### スケジュール

1. 開催挨拶 南山大学長 ミカエル・カルマノ / 豊田工業大学長 榊裕之
2. 連携趣旨と概要・実績等の紹介 南山大学 教学担当副学長 青木清
3. 講演①「人口減少社会における持続可能なまちづくり～震災復興から考える～」  
南山大学 総合政策学部 石川良文教授  
講演②「電気エネルギーの新たな展開～電気自動車とスマートコミュニティを例にして～」  
豊田工業大学 大学院 工学研究科 藤崎敬介教授
4. 質疑応答



#### ■名古屋キャンパスへのアクセス

- 地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口より徒歩約8分
- 地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分
- 地下鉄鶴舞線「いりなか」駅1番出口より徒歩約15分

\*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



南山大学

総合政策学部

石川良文 教授

### 人口減少社会における 持続可能なまちづくり

～震災復興から考える～

バブル経済の崩壊から20年。日本の社会経済は長期にわたり低迷し、「失われた20年」と言われている。そんな中大震災が東日本を襲い、被災地域はもとより直接被災していない地域においても、災害に強く省エネに対応した新しいまちづくりが求められている。一方、日本は既に人口減少社会に突入り高齢化も加速している。既に高齢化率が50%を超える地域もあり、地域の維持が困難になっている。人の生活は地域にある。地域が持続的に維持・発展し、失われた30年とならないために何が必要か、震災復興を機にまちづくりの在り方を考える。



豊田工業大学

大学院 工学研究科

藤崎敬介 教授

### 電気エネルギーの 新たな展開

～電気自動車とスマートコミュニティを例にして～

震災に端を発した節電社会において、太陽光発電はじめ自然エネルギーを利用した新たな発電方法の開発・実用化が急がれている。一方で、電気自動車が実用化し、エネルギー利用で大きな割合を占める輸送分野において電気モータの利用が急ピッチで普及してきている。両者は、電気エネルギーの発生・蓄電そして利用において従来にない課題を生じつつも、スマートコミュニティにおける重要な担い手として期待されている。ここではこうした電気を中心としたエネルギー問題を、最前線の研究状況を交えながら説明すると同時に、その原理原則から派生する地域社会・節電社会の在り方について考える。

申込方法

応募は、ハガキ、FAX、E-mailにて受け付けます。(電話では受け付けておりません) いずれの場合も、参加希望者および同伴者の〒、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先電話番号をご記入ください。

申込期限

11月25日(金) 必着

定員

400名(参加費無料、先着400名様に「招待券」をお送りします。)

申込先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18 南山大学学長室「連携講演会」係 FAX 052-832-0666 E-mail. pr-gaku@nanzan-u.ac.jp

問合せ先

南山大学学長室 / TEL 052-832-3113 豊田工業大学渉外広報室 / TEL 052-809-1764

個人情報の取扱について… 収集した個人情報は、受講・キャンセル受付、受講票の作成・発送、受講者リスト作成、講演会受付・今後の講演会開催のご案内のために利用します。なお、収集した個人情報は、受講票発送手続きのために委託業者にも提供いたします。



南山大学



豊田工業大学